

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名 児童発達支援サービスPOLEPOLE

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の困り事だけではなく、訪問先の先生の困り事も含めた対応を一緒に考えている。	ヒアリングをしながら現状を把握し、特性理解につながるよう事業所での様子を共有しながら提案するよう心がけている。	本人や保護者、訪問先事業所のニーズに合わせた方法や教材などを検討し、訪問先事業所との連携を密に図ることにより保護者や児童が安心した環境になるように一緒に考えたい。
2	現場の状況や訪問先の方針を理解し尊重しつつ、保護者の想いと重ね合わせ、共通認識を持って対応できる方法を提案している。	支援の連携を図る前に、訪問先の方針を理解し、それぞれの役割の中でどういった連携が良いか、支援方法を模索し提案するよう心がけている。	支援計画等を共有しあい、家庭・訪問先・事業所で、1つの大きな支援の輪をイメージしやすいよう、関係性を構築していきたい。
3	保護者への報告方法の選択肢を柔軟に対応している。	各ご家庭の生活サイクルや都合に合わせてつつ、負担のないように報告している。	次回訪問に向けての要望や相談がしやすい環境を作っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	需要に対し、訪問の頻度が少ない。	訪問員の調整不足	業務の効率化を図り、需要に沿って訪問できるよう調整の工夫が必要。
2			
3			